

2022年12月19日

【デフリンピックまであと3年】クラウドファンディング（継続寄付）へ挑戦！

ここ福岡・九州から全国へ！ 難聴の啓発活動を加速

福岡を拠点として難聴の啓発活動や難聴者の就職サポートを展開する「一般社団法人言葉のかけはし」（福岡市、代表理事：岩尾至和）は「難聴者の『学ぶ』『働く』を応援する社会づくり」を目的としたクラウドファンディング（継続寄付）を開始いたします。

難聴者の『学ぶ』『働く』を、応援する社会づくり！



当法人設立から1年。難聴がわかるアニメ「なんちょうなんなん」を活用した出前講座を26回実施、難聴者向け就職支援講座や難聴啓発セミナーなどの活動を通じ難聴理解が進んでいる手応えを感じる一方、難聴が“軽く”捉えられているのではないか、という事実にも何度も直面しました。

聴覚障害者の国際スポーツ大会「デフリンピック 2025年夏季大会」の東京開催が決定しました。1924年の第1回大会から数えて100周年にあたる歴史的な大会ということもあり、聞こえのユニバーサル化は加速するはずです。日本における難聴理解を拡げる機会の皮切りとして、出前講座に加え、難聴者向け就職支援講座、「プラス1コミュニケーション」(※)プランナー養成講座開催など運営する上でかかる費用全般を募る本企画。目標金額や期限を決めてチャレンジする単発型・クラウドファンディングではなく「継続寄付」を選んだのは、毎月の安定した資金調達により、難聴の啓発活動を継続的に実施するためです。(※) 当方が提唱する、誰もが会話しやすくなるコミュニケーション法

- ・実施期間：2022年12月23日（10時公開）～
- ・URL：https://readyfor.jp/projects/nancho_kakehashi
- ・内容：難聴者の『学ぶ』や『働く』を応援する社会をつくるためのサポーター（毎月の継続的なご支援）を募集。

多様性やSDGsが叫ばれる中、社会から見落とされてきた社会課題、難聴。まずはここ福岡・九州から、聞こえなくても「学ぶ」「働く」を応援できる社会づくりを推進してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】 <https://www.kotoba-bridge.org/>

一般社団法人言葉のかけはし：岩尾（いわお） e-mail：y-iwao@kotoba-bridge.org